

平成 28 年度マンション マンションの新たな維持管理適正化・再生推進事業

災害協力隊会議での取り組み内容及び防災訓練報告

平成 29 年 2 月 17 日

株式会社つなぐネットコミュニケーションズ

■取り組み概要

大地震発生時に必要となる管理組合理事会、マンション内防災組織である災害協力隊による災害対策本部設置、居住者の安否確認などの対応策を準備し、的確に実施するための防災訓練をおこなう。

■実施内容

- I 災害協力隊会合における協議 月例会合における防災訓練内容検討
- II 防災訓練における実践 防災訓練（平成 28 年 11 月 13 日開催）
- III 課題抽出 防災訓練にて得られた課題の共有及び今後の対応

■ I 災害協力隊における協議 月例会合における防災訓練内容検討

第 1 回（平成 28 年 7 月 13 日開催）

- ・平成 28 年 6 月 19 日に実施した防災訓練について振り返りを実施し、次回訓練に向け課題を災害協力隊にて共有をおこなった。
 - 課題）訓練参加者の減少
 - 訓練告知手法の見直し
 - 防災訓練実施場所が判り辛い
- ・広報資料（災害協力隊だより）を活用した国交省補助事業の周知

第 2 回（平成 28 年 8 月 25 日開催）

- ・平成 28 年 11 月 13 日実施予定の防災訓練に関し検討を実施した。
 - ◇安否確認訓練の参加率向上の為に、広報資料である災害協力隊だよりを活用し内容を良く理解いただける様案内し、参加促進を図る。
 - ◇実施後に参加者の感想などを記載する事も検討。
 - ◇安否確認においては「災害時要配慮者」を対象として実施する事を提起。
 - ◇前回訓練においては初動のフロア毎の集合場所が認知不足解消の為、案内表示の常設検討。
- ・災害協力隊だよりの内容を検討。

第 3 回（平成 28 年 9 月 14 日開催）

- ・平成 28 年 11 月 13 日実施予定の防災訓練に関し検討を実施した。
 - ◇訓練告知資料内容及び告知場所の検討
 - 各フロアでの集合場所サインの掲示
 - ◇要配慮者の訓練参加検討 災害協力隊が訓練の際は自宅訪問する事とした。
- ・災害協力隊だよりの内容を検討。

9月配付 災害協力隊だより (抜粋)

Brillia Mare 有明

TOWER & GARDEN

SAIGAI KYOURYOKUTAI DAYORI

災害協力隊だより

平成28年 8月
vol.7

防災訓練(安否確認)について

去る6月19日に実施いたしました、防災訓練にご協力いただき誠にありがとうございました。
 今回からは初めての取り組みとして、予め各階ごとに用意した「指示書」に従って訓練を実施いたしました。
 防災マニュアルの内容に沿った「指示書」の活用により安否確認方法について事前の理解が無くとも、対応が可能となるようにいたしました。
 初めての取り組みであったことから、改善を要する点もありましたが、今後も継続的に取り組んでいきたいと思っております。

実際に掲示した指示書関係資料



なお、今回の訓練参加戸数は昨年に比べ100戸弱減ってしまいました。
 大地震はいつ来るとも知れません。
 災害に備える為に今後とも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

	全体集計								
	タオI			不在回答			合計		
	H27年	H28年	増減	H27年	H28年	増減	H27年	H28年	増減
参加戸数	559	430	-129	123	156	33	682	586	-96
合計1080戸									
参加率	52%	40%	-12%	11%	14%	3%	63%	54%	-9%

- 掲載記事 ①6月実施防災訓練報告
 ②国交省事業概要説明及び勉強会案内
 ③災害協力隊への参加御願ひ

第4回（平成28年10月12日開催）

- ・平成28年11月13日実施予定の防災訓練に関し検討を実施した。
- ◇防災マニュアルに掲載の安否確認作業について「指示書」として作業を記載したツールの確認を実施した。

「指示書」案


最初に入室した方

安否確認 指示書①

確認に必要なツールを取り出す

方法(9時40分過ぎ)

- ①最初にこの場所「附室2」に駆け付けた**あなた**が対応を始めてください。
- ②あなたは封筒の中にある、**階別安否情報シート(様式1)、不在連絡票、筆記用具及び指示書(フロア長用/フロア長補佐用)**を取り出してください。



- ③準備ができたなら**裏面**を見てください。

copyright © Tsumu Network Communications, Inc. All Rights Reserved

◇告知文の確認を実施した。

告知文

防災フェスタ開催日

11月13日(日)9時30分～

全戸一斉

防災訓練

安否確認訓練を実施いたします。
タオルを利用した安否表明と、同一フロアでの居住者の安否確認です。

訓練時集合場所：各フロア東側附室2

震災時には消防や救急の支援が期待できません。
その為にもご近所同士の助け合いが重要になります。

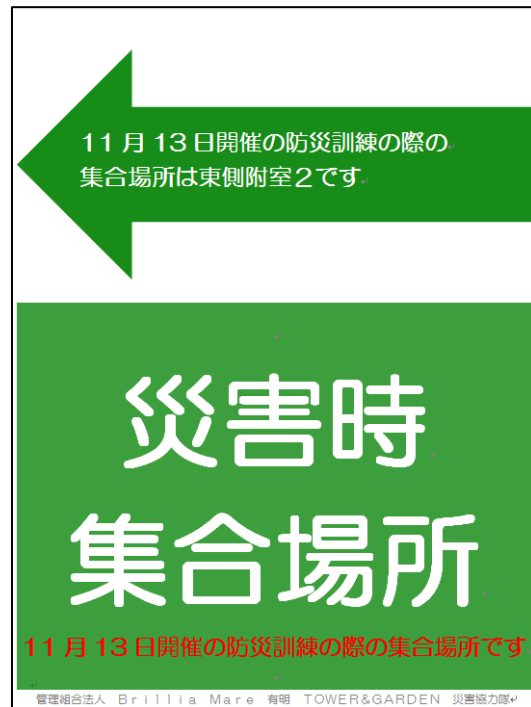
震災に備えるとても重要な訓練ですので、是非ご参加ください。

管理組合法人 Brillia Mare 有明 TOWER&GARDEN 災害協力隊

◇要配慮者の参加は次回（平成 29 年 6 月実施予定）からに変更した。

◇集合場所の明示サインの内容確認及び掲示を決定した。

集合場所明示サイン



◇安否確認作業の際の本部～ブロック間の連絡手段として新たにトランシーバーの導入・活用を検討。理事会に購入を上程する事とした。

◇防災訓練の告知物に関し検討を実施、全戸投函する事とした。

11月13日(日)開催! **防災フェスタ**

北側ガーデンにて実施します

展示ブース のご案内

今年4月に震度7を記録した熊本地震、つい先日の10月21日には震度6弱を記録した鳥取地震が発生しています。地震国日本に住む我々としては他人事では無く、首都圏での大地震も現実になっている危機として捉える必要があります。

大地震を防ぐことはできませんが、日頃の備えを充実させることで、減災が可能になります。地震による被害を理解し、何を備えるべきか防災フェスタを通じて考えて頂きたいと思います。

今年度は東京建物アメニティサポートによる防災勉強会など、防災フェスタ以外にも防災に関するイベントが開催されています。是非こうしたイベントとあわせ、防災に関心を持って頂き、「その時」に備えて頂ければと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

防災フェスタ

- 日時：2016年11月13日(日) 11：10～14：30
- 場所：プリリアマーレ有明 1階 北側ガーデン
- 参加対象：皆さんです！老若男女、子供たちも来てね！
- 参加に伴い・・・粗品進呈 (数に限りがございます。品切れの際はご容赦願います)
- 実施内容
 - ◆有明分署の消防隊員から、防災・減災のお話を頂戴します。
 - ◆ミニ防災勉強会：家具転倒防止と安否確認システムについてご案内
 - ◆防災パネル展示：様々な備えをご案内します
 - ◆住民懇親バーベキュー：今年も実施します！各ブロックに分かれてご近所さんとの親睦を深めましょう！
 - ◆その他、様々なイベントを実施いたします！

消防講話

防災パネル展示

防災勉強会

住民懇親バーベキュー

※様々な展示ブースを準備しています。詳しくは右ページをご覧ください。

注：雨天の場合又は有明地区に火災が発生した場合、プログラムを変更致します事ご了承願います。

展示ブース のご案内

- 防災グッズの展示・販売会 (シーエスワン)**
当マンションが防災備蓄品を購入しているシーエスワンが今回も参加いたします！
売り切れ御免のアウトレット品の販売も行います！ご購入はお早めに。
- 防災パネル説明会 (つなぐネットコミュニケーションズ)**
つなぐネットコミュニケーションズでは、当マンションにおける生活の中の各状況想定し、居住者にとって役立つ防災グッズの内容や数量をわかりやすく紹介します。必要な備えの参考になさってください。是非お立ち寄りください！
- 産直野菜販売・試食会 (東都生協)**
東都生協の産直野菜販売・試食会 (東都生協) (16:30まで開催 !!)
安心・安全！たまごプリンの試食やストレートジュースの試飲もご用意！
今回のバーベキューの野菜も提供させていただきます！
大人気企画！【たまごの無料つかみどり】も開催します。
※1家族1回のみ なく次回終了となります。
- 家事代行 ホームエイドサービス (ペアーズ)**
家事をはじめとした住まいのお手入れ・暮らしのお困りごとのご相談を受け付けます。
Mare有明限定サービス！
****何らかのPR文章をください*****
- 家具補修・製作相談 (清水工芸)**
当マンションのキッチンタジョやテラスの家具補修を行っている清水工芸です。椅子の張替えや、家具の新規製作も承っています。その他家具のご相談などお寄せください！
お子様向けの工作教室 (無料)も開催しますので、是非ご参加ください。
- 防災勉強会**
防災勉強会の振り返り (東京建物アメニティサポート)
第1回及び第2回の防災勉強会の内容をあらためてご案内致します！
有効な家具転倒対策や安否確認システムの登録方法をご案内！

是非お立ち寄りくださいませ！

第5回（平成28年11月9日開催）

- ・平成28年11月13日実施予定の防災訓練に関し検討を実施した。
 - ◇訓練イベントとして実施する防災啓発の為の「防災パネル」の内容に関し確認
 - ◇安否確認訓練の指示書に基づいた行動に関し再確認を実施。
 - ◇集合場所表示サインに関し掲示済報告

第6回（平成28年12月14日開催）

- ・平成28年11月13日実施予定の防災訓練に関し検討を実施した。
 - ◇防災訓練実施報告をおこなった。防災訓練の参加者集計報告。
 - ◇更なる参加率向上の為の告知方法の見直しを実施した。
 - ◇防災訓練結果報告を掲載する災害協力隊だよりに関し内容検討を実施した。

第7回（平成29年1月11日開催）

- ・防災訓練を踏まえた今後の対応に関し検討を実施した。
 - ◇災害協力隊だより内容検討を実施し、全戸投函を実施する事とした。

1月配付 災害協力隊だより（抜粋）

Brillia Mare有明
TOWER & GARDEN
SAIGAI KYOURYOKUTAI DAYORI

災害協力隊だより

平成29年1月
vol.8

【明日巨大地震が発生したらあなたはどうしますか？】

今後30年以内に首都直下型大地震の発生確率はおよそ70%と予測されています。つまり、明日発生してもおかしくない状況なのです。そんな中でも日々生きてゆくため、防災の備えはできているでしょうか。

これまで災害協力隊だよりに度々掲載されましたが、災害時の基本原則は「自分の身は自分で守る」、「家族の身は家族で守る」ことです。

■災害時、まずは『自助』として自分や家族の身の安全を確保し、各戸の備蓄食糧・水・簡易トイレ等で生き延びてください。そのうえで安否確認などマンション住民のための活動にご協力をお願いいたします。



POINT 一度に必要なものを全て揃えるのは大変ですから、優先度の高いもの⇨健康を維持するものから順に揃えましょう。それは、水・食糧・簡易トイレです。

■食糧・水・簡易トイレ（トイレットペーパーも）・その他災害時に必要な物品は各家庭で3日分、できれば1週間分を備えておきましょう。



POINT 食糧の備蓄はいつも使っているものを多めに購入しましょう。それらを普段から食べて減った分だけ買い足すと防災対策の負担も減ります。

■マンションの住戸内で身の安全を確保するためには、家具・電気製品の下敷きになりケガを負わないよう『転倒防止』が重要です。転倒防止器具は家具の前面下に扶むプラスチック製やゴム製グッズも一定の効果がありますが、壁に固定する器具との併用が有効とされています。



POINT 転倒防止対策と併せ、家具の配置も見直しましょう。被害が大きくなる場所への配置見直しも重要です。

【防災訓練・フェスタに参加して】

11月13日（日）午前、大地震発生後を想定した安否確認訓練を実施しましたが、参加率は55.7%（前回比+2%）でした。過去の平均が62%であることを考えるとやや低下傾向にあると考えています。原因はどこにあるのか、災害協力隊の集いで話し合った結果、以下の様な意見が出ました。

- マンネリ化してきたため、参加意欲が低下してきた。
- 築7年目となり居住者が引っ越しなどで入れ替わりつつある。
最近の入居者は大地震発生時にどのように対応すればよいか知らないのではないか。よって安否確認の意思表示方法（無事であればタオルをかける）も知らない方もいるかもしれない。
- 引っ越して退去した人が増え、実際の居住率が下がってきた可能性もある。
- インターホンや放送がよく聞こえない。（これは以前から変わらず、構造上の問題もある）
- 事前告知不足。エレベータ内の掲示物は前日夜までドッグランや33Fレストランの案内などを掲示していた。居住者の生命に関わる「共助」活動であることから、今後は防災訓練の1週間前から他の掲示物よりも優先して掲示するよう強制力を働かせるべきでは。

今後、理事会や東京建物アメニティサポートと連携して、より一層事前告知に力を入れてまいります。



【防災フェスタ】

防災訓練に引き続き実施したフェスタでは、各企業のご協賛ご協力を得て、展示コーナーのほかバーベキューで5フロア毎に「ブロック」と称する単位でコンロを囲み食事を楽しんでいただきました。最終的な参加人数は約330名でした。アルコールの力も手伝って、皆様会話も弾んだ事と思います。今後同フロア、近くのフロアで顔を合わせたら、顔と名前が一致しなくても、挨拶しやすくなっていることと思います。

好評のこのイベントは今後も改善しながら継続していきたいと考えております。



◇防災訓練を踏まえた防災マニュアルの修正について検討を実施した。

トランシーバーの活用・集合場所の明示・指示書を防災マニュアルに反映する事とした。

◇個別マニュアルの修正

防災マニュアルとは別の各戸の初動を記載した個別マニュアルに関し指示書の内容を反映する事とした。

第8回（平成29年2月8日開催）

・防災訓練を踏まえた今後の対応に関し検討を実施した。

◇各戸防災マニュアルの修正について検討

※全体の防災マニュアルの修正に関し今後の対応事項とした。

■ II 防災訓練における実践 防災訓練（平成 28 年 11 月 13 日開催）

◇前回実施の防災訓練における課題（訓練参加者の減少/訓練告知手法の見直し/防災訓練実施場所が判り辛い）等の解決策も踏まえ、訓練を実施した。また新たに安否確認の際の情報連絡手段としてトランシーバーを活用した。

- ・安否確認訓練 「指示書」に基づく各フロア毎の各戸の安否確認及び、災害対策本部への報告



- ・防災展示パネル展示



- ・防災勉強会振り返り
- ・防災フェスタ（消防講話・防災グッズ展示・芋煮・バーベキュー等）

◇訓練総括

- ・トランシーバーの効果に関しては手段としての有効性を確認できたが、運用に関してはトークスクリプトを作成し防災マニュアルへの反映が必要と思われた。トランシーバーは電話と異なり一方通行のコミュニケーション手段で有る為、伝えるべき内容や伝え方などをルール化する事で、有効活用の可能性が高まるものと思われた。
- ・指示書に基づく安否確認訓練に混乱は見られず有効に活用されたと思われる。今後は防災マニュアルへの反映や内容をよりわかり易くする為の見直しを実施する必要がある。
- ・訓練参加数
前回到比 2%の参加率の向上が見られた。前々回と前回では-9%の参加率の減少が見られたため、防災訓練の告知物・サインの見直しや広報誌（災害協力隊だより）の告知効果に一定の効果があったものと推測され、今後も前びろな告知や広報誌を活用した啓発を継続する事が求められる。

■ III 課題抽出 防災訓練にて得られた課題の共有及び今後の対応

◇防災訓練参加率の向上

前びろな事前告知や関心促進の為の啓発を実施する事に一定の効果が見られた。本マンションにおいては災害協力隊だよりとして一定期間毎に全戸投函を実施できており、今後も有効活用を図る必要がある。関心を更に持っていただく為の取り組みとしては、発行回数を増やすこと、関連する記事を掲載し更に関心を高めるようにすることが必要と思われる。

掲載記事事例



◇安否確認手段の確立

超高層マンションにおける情報連絡手段としてトランシーバーが有効で有ることが確認された。今後はトランシーバーの機能を有効活用するためのトークスクリプト（通話事例）などを防災マニュアルに掲載し、正しく使用できるように訓練を通じ実践していく必要がある。

◇防災マニュアルの修正（安否確認指示書の活用）

指示書を集合場所へ常時設置すると共に防災マニュアルに反映し、初動の行動理解の促進を図る必要がある。

最初に入室した方 安否確認 指示書① 確認に必要なツールを取り出す

方法(9時40分過ぎ)

- ①最初にこの場所「附室2」に駆け付けた**あなた**が対応を始めてください。
- ②あなたは封筒の中にある、**階別安否情報シート(様式1)、不在連絡票、筆記用具及び指示書(フロア長用/フロア長補佐用)**を取り出してください。

- ③準備ができれば**裏面**を見てください。

copyright © 2016 Network Communications, Inc. All Rights Reserved

◇集合場所サインの常時設置による災害対応への理解促進

集合場所サインの常時掲示により普段から災害を意識し、発災時に混乱する事無く近隣の安否確認を始めとした協力活動に参加する土壌の醸成に効果が生まれるものと思われる。



■総括

1000世帯を超え、且つ33階建の大規模タワーマンションにおいては住民相互による安否確認が必須となります。一方で住民相互の安否確認を実現する為には、住民の災害対応への意識や関心を高める取組をおこなって行く必要があります。

住民の意識向上の為の取り組みとして防災訓練を軸とした啓発策が有効であり、訓練で実施する内容の検討・実施・実施後の検証を繰り返す事で徐々に効果が表れるものと思われます。

その検証作業の中心となる災害協力隊への住民参加促進など平時の取り組みへの関心を高めて頂く事も更に意識して頂く必要もあります。

今回災害協力隊だよりを活用し実施内容の浸透や理解が一定程度得られたと思われる事から、今後も災害協力隊だよりや広報活動を通じ防災への意識向上を図って頂き、防災訓練を実践の場として活用して頂く事を継続頂けたらと考えます。